

健康推進看護学分野

A 欧文

A a

1. Araki M, Nishitani S, Miyamura T, Masuzaki H, Oishi K, Shinohara K: Fetal response to Mozart s music. Acta Medica Nagasakiensia 55(1):7-13,2010
2. Hayakawa H, Nomura A: Educational effects of creating word problems through inquiry-based learning. International Commission on Mathematical Instruction 2: 55-62, 2010
3. Nomura A, Honda S, Hayakawa H, Amarasinghe S, Aoyagi K: Post-traumatic stress disorder among senior victims of tsunami-affected areas in Southern Sri Lanka. Acta Medica Nagasakiensia 55: 41-46, 2010
4. COX K, Yamaguchi S: Japanese graduate nursing students' perceptions of the teaching performance of an intercultural teacher. Nursing Education Perspectives 31(3): 156-159, 2010
5. Kaku N, Seki M, Doi S, Hayashi T, Imanishi D, Imamura Y, Kurihara S, Miyazaki T, Izumikawa K, Takeya H, Yamamoto Y, Yanagihara K, Tashiro T, Kohno S: A case of intravascular large B-cell lymphoma (IVLBCL) with no abnormal findings on chest computed tomography diagnosed by random transbronchial lung biopsy. Intern Med 49(24): 2697-2701, 2010 (IF: 1.040)
6. Seki M, Hashiguchi K, Tanaka A, Kosai K, Kakugawa T, Awaya Y, Kurihara S, Izumikawa K, Takeya H, Yamamoto Y, Yanagihara K, Tashiro T, Kohno S: Characteristics and disease severity of healthcare-associated pneumonia among patients in a hospital in Kitakyushu. Japan J Infect Chemother 2010 Oct 8. [Epub ahead of print]

A-b

1. Hamano K: Loneliness and relating factors in remote island residents aged 40 and over: Journal of Rural Medicine 5(1): 71-72,2010

A-c

1. Nagae M, Hanada H: Roles of outpatient nurses in child and adolescent psychiatry. 2nd Japan China Korea Nursing Conference: 118-119, 2010
2. Matsuo A, Nagae M, Takada S, Hanada H: Sexual acting out in an adolescent in a dysfunctional family. 2nd Japan China Korea Nursing Conference: 114-115, 2010
3. Nakao R, Tanaka M, Ishimatsu T: Tele care system of elderly and disabled people living in islands case study. The 12th International Symposium of Geospatial Information Science and Urban Planning, GISUP 2010 International. 67 -71 , 2010

B 邦文

B-a

1. 橋爪可織, 楠葉洋子, 山口智美, 黒田裕美, 岡田純也, 田川 泰, 浦田秀子: 連想法による成人看護学実習に向けた学習支援プログラム(サマーセミナー)の評価 - 事例による看護過程の展開と看護技術演習の実施 -. 保健学研究 22 (2) : 17-24, 2010
2. 大山祐介, 浦田秀子, 楠葉洋子: 周手術期を通してとらえた人工股関節全置換術を受ける患者の病気および手術と生活体験の分析 . 日本整形外科看護研究会誌 5 : 40-47 , 2010
3. 浦田秀子, 岡田純也: 中途障害者のセルフケア獲得へのケア b 脊髄損傷した人への ADL 自立獲得へのケア . 寺崎明美監修: 対象喪失の看護, 中央法規, 東京, pp186-194 所収, 2010
4. 楠葉洋子, 瀧健治: CO 中毒に対する HBO は有効か? - 一酸化炭素中毒の全国多施設調査から. 日本臨床高気圧酸素・潜水医学会誌 7(6) : 112-116 , 2010
5. 崎本瞳, 中村エリナ, 山口美由貴, 楠葉洋子: 療養病棟を退院する患者およびその家族の不安の分析. 日本看護学会論文集 40 号 : 18-20 , 2010
6. 東嶋美佐子, 田平隆行, 中川弘己, 井口茂, 中尾理恵子, 大町いづみ, 中原和美, 川崎涼子, 新田章子, 松坂誠應: ディケア利用者における摂食機能障害徴候に関する実態調査 . 日本作業療法研究学会雑誌 12 (2): 25-30, 2010
7. 横尾誠一, 大町いづみ, 井上高博: 精神障害者のスピリチュアリティへの影響要因の検討 . 日本精神保健看護学会誌 19(1): 84-93,2010
8. 新田章子, 中尾理恵子, 川崎涼子, 中原和美, 藤崎郁, 井口茂: 高齢者の介護予防に影響を及ぼす要因: 性差と主観的健康感の観点から . 保健学研究 23(1), 1-8, 2010
9. 松井美帆, 新田章子, 川崎涼子, 中村梓子, 岩下友華: 認知症グループホーム職員における看取りの意識 . Hospice and Home Care 18(1): 9-12 , 2010
10. 安藤悦子, 吉田美也子, 岩田千波, 益富美津代, 岩永喜久子, 山口智美: ホスピス・緩和ケア病棟におけるデスカンファレンスの機能 - ホスピス・緩和ケア病棟師長の視点より -. 死の臨床 33(1)126-132, 2010
11. 山口大志, 川口佐登美, 洲崎一宏, 富屋光介, 野川博文, 森山光則, 横尾誠一: 急性期治療病棟における実践的ケアに繋がる情報伝達方法改善への取り組み ~ 看護者の意識の変化 ~ . 第 63 回九州精神神経学会, 第 56 回九州

精神保健学会プログラム・抄録集: 166, 2010

12. 岡田純也, 塩田直美, 鳥瀬留美, 岩下陽子: 整形外科病棟における KYT の効果. 日本整形外科看護研究会誌 5: 48-54, 2010.

B-b

1. 掛屋 弘, 田代隆良: アスペルギローマ患者におけるイトラコナゾールの血中濃度と効果および安全性の検討. 深在性真菌症-SFI Forum- 6(1): 38-41, 2010
2. 花田裕子: 児童虐待. 子どもケア 5(5): 25-28, 2010
3. 大町いづみ, 楠葉洋子: 一般病院勤務看護師の背景とターミナルケア態度との関連要因. 日本がん看護学会誌 24: 155, 2010
4. 大町いづみ, 中原和美, 糸山景大, 浦田秀子, 長尾哲男, 井口茂, 中尾理恵子, 田平隆行, 川崎涼子, 新田章子: 長崎大学医学部保健学科におけるチームアプローチ教育の効果(第4報) 1年次「入門科目実習」の連想法による情意面の測定. 日本リハビリテーション連携科学学会第 11 回大会論文集 11(1): 75, 2010
5. 中原和美, 大町いづみ, 糸山景大, 浦田秀子, 長尾哲男, 井口茂, 中尾理恵子, 田平隆行, 川崎涼子, 新田章子: 長崎大学医学部保健学科におけるチームアプローチ教育の効果(第3報) 1年間の概念形成状況の変化. 日本リハビリテーション連携科学学会第 11 回大会論文集 1(1): 75, 2010
6. 横尾誠一, 大町いづみ, 吉原麻由美, 松島由美: 訪問看護師の看取りへの態度に関連する要因. 日本在宅ケア学会学術集会講演集 14: 117, 2010
7. 久保喜代子, 山口智美: 「お任せします」の意味分析からみた婦人科がん患者 4 事例の自己決定. 日本死の臨床研究会 33(2): 235, 2010
8. 植松仁子, 畠下恵, 山口智美: 一般病棟における終末期患者ケアとしての意図的タッチングの効果. 日本死の臨床研究会 33(2): 264, 2010

B-c

1. 田代隆良: ウイルス性感染症(感冒症状など). (山口 徹, 北原光男, 福井次矢(総編集): 今日の治療指針 2010 年版, 医学書院, 東京, pp197-198 所収). 2010
2. 古川恵一, 田代隆良, 藤田紘一郎: 感染症(岡庭 豊(編): イヤーノート内科・外科編 2011 年版, メディックメディア, 東京, ppH1-H106 所収), 2010
3. 濱野香苗: 3 年制看護学生の学生生活中に考え悩んだ事と解決方法 平成 11 年卒と平成 21 年卒の比較. 日本看護学教育学会第 20 回学術集会講演集, 258, 2010
4. 橋口香菜美, 濱野香苗: 看護職者の放射線に関する知識と不安度の実態. 第 41 回日本看護学会 看護教育 抄録集, 245, 2010
5. 脇川紗也香, 野茂香織, 濱野香苗: 看護職職員のワーク・ライフ・バランスの実態調査. 第 41 回日本看護学会抄録集 看護管理, 290, 2010
6. 山口多恵, 松尾理佳子, 勝野久美子, 濱野香苗: 回復期リハビリテーション病棟における転倒・転落リスク予測に関する職種の特徴. 第 15 回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会プログラム・抄録集, 34, 2010
7. 高久史磨 監修 楠葉洋子(分担執筆): 看護学生とナースのためのベーシックナーシング. 株式会社メディカルビュー社, 2010

B-d

1. 田代隆良, 井上美穂, 澤瀬いづみ, 中村友紀, 西島美紀, 馬場綾乃, 長岡清子: 特定健康診査・特定保健指導の効果に関する検討. 保健学研究 22(2): 1-8, 2010
2. 橋爪可織, 楠葉洋子, 山口智美, 黒田裕美, 岡田純也, 田川 泰, 浦田秀子: 連想法による成人看護学実習に向けた学習支援プログラム(サマーセミナー)の評価-事例による看護過程の展開と看護技術演習の実施-. 保健学研究 22(2): 17-35, 2010
3. 楠葉洋子, 平智津美, 岩下香奈美, 井上澄子, 原口恵子, 四辻由紀, 泉 富代, 吉田律子, 浦田秀子: 外来と病棟に勤務する看護師の仕事ストレスとその関連要因. 保健学研究 22(2): 27-35, 2010
4. 中尾るい子, 松成裕子: 長崎原爆投下時における看護師の救護活動に関する聞き取り調査. 保健学研究 22(2): 9-15, 2010
5. 松成裕子, 横尾誠一, 井上晶代, 高村昇, 大石和代, 松本正: 放射線医療における専門看護師養成教育カリキュラム開発について-看護教育内容の抽出とカリキュラム構築-. 保健学研究 22(2): 65-69, 2010
6. 中山洋子, 工藤真由美, 松成裕子他: 看護実践能力の評価と評価方法に関する調査, 平成 18 - 21 年度科学研究費補助金(基盤研究(A))研究成果報告書, 2010
7. 横尾誠一, 吉原麻由美, 松島由美, 大町いづみ: 訪問看護師のターミナルケア態度に関連する要因の分析一般病

- 院看護師との比較. 保健学研究 22(2): 37-43, 2010
8. 森英恵, 山口智美, 高崎優子, 川原隆: 感染管理現任教育への展開: 標準予防策に対する看護師の認識に関する文献研究. 保健学研究 22(2): 51-57, 2010
 9. 岡田みずほ, 天ヶ瀬智子, 小森知加子, ニノ宮実知子, 元川津留美, 森豊子, 下田澄江, 岡田純也: 新人看護師および再就職看護師の基礎看護技術の修得状況. 保健学研究 22(1): 57-65, 2010.
 10. 松成裕子, 横尾誠一, 花田裕子, 野村亜由美, 宮原春美, 楠葉洋子, 河村靖子, 濱野香苗: IBL 学習法の看護学概論への適応. 保健学研究 23(1): 17-24, 2010
 11. 濱野香苗, 森藤香奈子, 佐々木規子, 山崎真紀子, 宮原春美, 井上晶代, 松本正: 遺伝公開講座 「遺伝について楽しく学ぼう」の開催と評価. 保健学研究 23(1): 17-24, 2010

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	0	15	4	6	78

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
田代隆良・教授	代議員	日本呼吸器学会
田代隆良・教授	評議員	日本感染症学会
田代隆良・教授	評議員	日本化学療法学会
田代隆良・教授	評議員	日本呼吸器内視鏡学会
田代隆良・教授	評議員	日本肺癌学会
田代隆良・教授	評議員	日本結核病学会
田代隆良・教授	教育委員	日本結核病学会
田川 泰・教授	九州地方評議員	日本外科学会
田川 泰・教授	編集委員	日本サイトメトリー学会
浦田秀子・教授	評議員	日本看護学教育学会
浦田秀子・教授	評議員	日本看護研究学会
浦田秀子・教授	評議員	日本がん看護学会
浦田秀子・教授	査読委員	日本看護学教育学会誌
浦田秀子・教授	査読委員	日本看護研究学会雑誌
浦田秀子・教授	査読委員	日本整形外科看護研究会誌
濱野香苗・教授	長崎県看護教員養成講習会 講師	長崎県看護協会
濱野香苗・教授	査読委員	長崎県看護学会
濱野香苗・教授	認定看護管理者研修運営委員	長崎県看護協会
濱野香苗・教授	第 41 回日本看護学会—看護教育—学術集会 準備特別委員	長崎県看護協会
濱野香苗・教授	座長	第 41 回日本看護学会—看護教育—学術集会
濱野香苗・教授	座長	九州農村医学会
森下路子・教授	看護学会誌看護査読委員	長崎県看護協会
花田裕子・教授	スーパーパイザー	自立支援ホーム ドリームカム
花田裕子・教授	査読委員 (日本看護学会: 看護教育)	日本看護協会
花田裕子・教授	座長 (日本看護学会: 看護教育)	日本看護協会

花田裕子・教授	評議委員	日本うつ病学会
中尾優子・教授	看護研究指導（看護統計学）	聖フランシスコ病院
中尾優子・教授	看護研究指導	済生会長崎病院
中尾優子・教授	常任理事	長崎県母性衛生学会
中尾優子・教授	査読委員	長崎県看護協会
楠葉洋子・准教授	査読委員	日本整形外科看護研究会
楠葉洋子・准教授	査読委員	日本糖尿病教育・看護学会
楠葉洋子・准教授	第41回日本看護学会-看護教育-学術集会 一般演題抄録査読員	日本看護協会
楠葉洋子・准教授	第41回日本看護学会-看護教育-学術集会 一般演題座長	日本看護協会
楠葉洋子・准教授	一般演題抄録査読員	日本糖尿病教育・看護学会
楠葉洋子・准教授	実習指導研修会講師	長崎県看護協会
楠葉洋子・准教授	看護研究指導	長崎大学病院
楠葉洋子・准教授	看護研究指導	医療法人 光晴会病院
大町いづみ・講師	平成22年度長崎県実習指導者講習会講師	長崎県看護協会
大町いづみ・講師	長崎県立長崎南高等学校教育評議委員	長崎県教育委員会
大町いづみ・講師	長崎県高大連携推進委員	長崎県教育委員会
大町いづみ・講師	実行委員会委員	長崎薬学・看護学連合コンソーシアム推進センター
大町いづみ・講師	推進委員会委員	長崎薬学・看護学連合コンソーシアム推進センター
大町いづみ・講師	シリーズ研修「つなぐ看護：退院調整・退院支援とは」講師	長崎大学病院看護部
大町いづみ・講師	講師	長崎薬学・看護学連合コンソーシアム推進センター
大町いづみ・講師	早期体験学習 実習担当	長崎薬学・看護学連合コンソーシアム推進センター
野村亜由美・講師	理事	医療法人敬天会グループホーム「野の実」
中尾理恵子・講師	健康長崎市民21市民懇話会分科会	長崎市
中尾理恵子・講師	運営理事	NPO 長崎斜面研究会
中尾理恵子・講師	都市計画審議会委員	長崎市
中尾理恵子・講師	県南ブロック協議会職能担当理事	長崎県看護協会
中尾理恵子・講師	地域密着型サービス事業者選定委員	長崎市
岡田純也・講師	九州地区役員	日本整形外科看護研究会
岡田純也・講師	査読委員	日本整形外科看護研究会
岡田純也・講師	看護研究指導講師	聖フランシスコ病院
岡田純也・講師	外部役員	ペーチェット病友の会 長崎県支部
黒田裕美・助教	看護研究指導講師	聖フランシスコ病院
山口智美・助教	看護部外部教育委員兼看護研究指導講師	長崎市立市民病院
山口智美・助教	看護研究指導講師	長崎市立病院成人病センター

山口智美・助教	看護部研修会講師	対馬いづはら病院
橋爪可織・助教	看護学研究講師	聖フランシスコ病院
横尾誠一・助教	研修会講師（基礎看護学）	医療法人友愛会 田川療養所
横尾誠一・助教	研究指導	医療法人友愛会 田川療養所
横尾誠一・助教	推進委員	長崎薬学，看護学連合コンソーシアム

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
田代隆良・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 宿主自然免疫の解析による新しい深在性真菌症診断法の開発
田川 泰・教授	文部科学省	分担	水素発生源として水素貯蔵合金を使用したピンポイント癌治療法の開発
濱野香苗・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 離島在住高齢者の QOL 向上へのインフォーマルサポートの関連に関する研究
楠葉洋子・准教授	日本学術振興会	分担	挑戦的萌芽研究 看護師を対象とした在宅美取ケアに関する効果的・効率的研修プログラムの開発
松成裕子・准教授	長崎大学医学部保健学科	代表	放射線医療における専門看護師養成教育カリキュラム開発研究 - 看護教育内容の抽出とカリキュラム構築 -
大町いづみ・講師	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 看護師を対象とした在宅看取りケアに関する効果的・効率的な教育研修プログラムの開発
大町いづみ・講師	長崎大学医学部保健学科	代表	連想法調査によるチームアプローチ教育の効果と効率的なプログラム開発に関する研究
大町いづみ・講師	文部科学省	分担	「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」 在宅医療と福祉に重点化した薬学と看護学の統合教育とチーム医療総合職養成のための拠点形成
野村亜由美・講師	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 津波被災後のスリランカにおける高齢者の心的外傷と認知症に関する医療人類学的研究
野村亜由美・講師	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) ソーシャルキャピタルと心的外傷後ストレス障害の回復に関するマルチレベル分析
野村亜由美・講師	アジア・アフリカ言語文化研究所	分担	社会開発分野におけるフィールドワークの技術的融合を目指して
中尾理恵子・講師	特別研究支援経費（学内）	代表	介護予防に関連する自主活動グループと地域づくり
岡田純也・講師	文部科学省	代表	若手研究(B) ペーチェット病患者の疾病受容過程の促進要因

森藤香奈子・助教	文部科学省	代表	若手研究(B) 染色体障害児のきょうだいケア体制の構築に関する研究
川崎涼子・助教	文部科学省	代表	若手研究(B) 在宅ケアにおける訪問看護師の倫理的ジレンマ(継続)
黒田裕美・助教	長崎大学医学部保健学科	代表	慢性心不全患者の身体的自己概念に関する研究
山口智美・助教	文部科学省	代表	若手研究(B) MITORI(看取り) Nursing Culture: 離島地域文化的コンテキストにおける介護者のQOL
山口智美・助教	平成 22 年度長崎看護学同総会看護研究奨励賞	代表	臨床看護倫理国際比較調査票 Version□による比較文化的看護倫理研究
永江誠治・助教	文部科学省	代表	若手研究(B) 小児精神看護における母子を対象とした心理教育プログラムとアドヒアランス指標の開発
横尾誠一・助教	日本学術振興会	分担	挑戦的萌芽研究 看護師を対象とした在宅看取りケアに関する効果的・効率的教育プログラムの開発

特 許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番 号
田川 泰・教授	癌転移能評価方法及び癌転移能評価のための三次元二重膜構造 DP1922	2007 年 7 月 24 日	特開	出願番号 2009-27928
田川 泰・教授	水素吸蔵合金及び部材を備えた癌治療装置	2008 年 2 月 28 日	特開	出願番号 196968

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
花田裕子・教授	児童とうつ	教育医事新聞	5 月号	第 8 回日本うつ病学会のワークショップ企画について、一般児童のうつと虐待によるうつ症状について記事になった。
大町いづみ・ 講師	平成 22 年度長崎薬学・看護学連合コンソーシアム ・大学教育プログラムの企画運営 ・早期体験学習の企画運営 ・生涯学習プログラムの企画運営	長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学・長崎県薬剤師会・長崎県病院薬剤師会・長崎県医師会・長崎県看護協会・長崎県関連ホームページ、広報紙等に記載 取り組みに関する情報配信、組織内の	平成 22 年度 1 月～継続中	文部科学省戦略的大学連携支援プログラム選定取り組み 在宅医療と福祉に重点化した薬学と看護学の統合教育とチーム医療総合職養成のための拠点形成のための取り組みとして、長崎大学薬学部、医学部保健学科、長崎県立大学・長崎国際大学の 3 大学が連携し、一般市民、専門職域を越えて、国内外に事業を展開している。

		情報共有のためにホームページを立ち上げている。		
大町いづみ・講師	長崎の緩和を考える会 教育研修会・事例検討会	長崎県訪問看護連絡協議会、長崎ドクターネット各ホームページ、病院掲示板	2010年 8月～9月	長崎の緩和を考える会代表として、研究会を発足。9月は淀川キリスト教病院ホスピス長、池永昌之先生による招待講演、事例検討会を企画、実施した。(長崎県内病院、訪問看護ステーション、福祉施設等の看護師、医師、福祉職 90名の参加)
山口智美・助教	家族介護者 QOL 尺度 (QOLLIT-F)日本語版作成			カナダ McGill 大学 Dr.Cohen らが開発した家族介護者 QOL 尺度 (QOLLIT-F)日本語版作成(宇座美代子教授(琉球大学)、キシ・ケイコ・イマイ教授(佐久大学))
永江誠治・助教	精神保健福祉セミナー講師			(社)長崎県精神保健福祉協会 研究助成金成果発表

その他

非常勤講師等

氏名・職	職名	関係機関
花田裕子・教授	非常勤講師	活水女子大学
中尾優子・教授	非常勤講師	日本福祉大学通信教育部

特筆すべき事項

- 花田裕子・教授 週1回の児童思春期外来において看護師として活動
- 花田裕子・教授 週1回子どものメンタルサポートグループ運営
- 山口智美・助教 平成22年度琉球大学後援財団「宮城一郎奨学金」受賞